

社会の発展を願った 創業者の思いを原点にして



1878年
海運がわが国の
産業・生活を変える
創業者 川崎正蔵
1878年東京・築地に川崎重工の起源となる
川崎築地造船所を開設



貨客船 伊豫丸

1911年
鉄道が陸運の重要な輸送
手段となり近代化を加速



国産化第1号蒸気機関車

1964年
高速移動により
生活に新たな価値を提供



0系新幹線

1972年
高度メカニズムで
ライダーに走る喜びを届ける



モーターサイクル
「カワサキ900スーパー4」

1979年
マーケットニーズに応える
ヘリコプタを開発



ヘリコプタ「BK117」

1991年
英仏をつなぐ
海底トンネルを貫通



英仏海峡海底鉄道トンネル向け
トンネル掘削機

2020年
手術支援ロボットの
製造販売承認を取得



手術支援ロボット「hinotori™
サージカルロボットシステム」
(株式会社メディカロイド)

… 1900 … 1960 … 1970 … 1980 … 2000 …

1922年
新たな輸送手段として
日本の“空”を切り拓く



乙式一型偵察機

1969年
産業用ロボットの導入で
現場作業の生産性を向上



産業用ロボット
「川崎ユニメート2000」

1976年
日本の産業用ガスタービン
分野を切り拓く



ガスタービン発電設備
「PU200」

1981年
新しいエネルギーを
大量に安定して運ぶ



LNG運搬船
「GOLAR SPIRIT」

2007年
エネルギーの有効利用と
環境負荷の低減を実現



カワサキグリーンガスエンジン

2022年
液化水素の海上輸送・荷役
実証試験を完遂



液化水素運搬船
「すいそ ふろんていあ」

そのわざを通じて 国家社会に奉仕する

川崎重工グループの創業者 川崎正蔵は「技術を通じて国家と社会の発展に貢献したい」という思いをもとに、1878年、東京・築地に川崎築地造船所を開設。1896年にはさらに発展して、株式会社川崎造船所を設立しました。川崎重工グループは、以来、125年以上にわたり、陸・海・空のモビリティからロボットまで、幅広い領域で最先端の技術に挑み続け、社会の要請に応える製品を世の中に送り出しています。

背景写真：1902年完成 乾ドック（神戸工場 第1ドック）

